

3学期の幕開けは、4年ぶりの雪遊び

真っ白な銀世界から始まった3学期初日でした。始業式が終わると、早速園庭に飛び出して雪遊びを満喫する子ども達。雪だるまを初めて作った人もいれば、築山からソリ滑りに挑戦する人、雪の中に寝転んで、ふわふわの雪を体全体で感じている人もいました。

雪だるま作りでは、木の枝やキャベツの外葉、消し炭、砂場の道具などを使っておめかしを考えたり、どこに雪だるまを飾るか考えたり工夫していました。手袋を雪まみれにしながら頑張って完成した雪だるまを見せてくれた子どもたちの顔はとっても誇らしそうです。

築山からのソリ滑り。ここ数年はソリ滑りができるほどの積雪が無かったため、倉庫で眠っていた簡易のソリがやっと日の目を見ました。みんなとても上手に乗りこなし、前の人が滑り終わると「OOちゃん、もう(滑っても)いい?」「いいよ~!!」と声を掛け合って安全確認しながら遊ぶ姿に頼もしさを感じました。



「なかよし雪だるま完成!」「順番に滑りまへす!!」「足を上げるとスピード出てきて、楽しい!!」

鏡開きをしました!

12日に幼稚園の鏡開きをしました。昨年末、例年ならば餅つきをして鏡餅を作るのですが、今年度はコロナ禍のため叶わず、代わりに餅つきごっこをして、米粉粘土を使ってミニミニ鏡餅を作り各家庭に持ち帰っていました。今年のお正月には各家庭で飾ってもらっていたことでしょう。



子ども達が作ったミニミニ鏡餅は2段重ねから6段重ねまで!!

園での鏡開きは、最初に鏡開きの請れについて、「今年一年の無病息災を願ってお正月にお供えしていた鏡餅をいただく」と聞いてから会が始まりました。

年長児は鏡餅を木槌で砕くことも体験しました。硬くなった鏡餅は包丁などの刃物を使わず、手や木槌を使って小さくします。例年なら、小さくした鏡餅をホットプレートで焼き、ぜんざいに入れていただくのですが、今年は断念。お湯を注いで1分でできるカップのお汁粉をかわりにいただきました。



来年の鏡開きには子ども達と一緒に餅つきをして作った鏡餅をみんなでいただける日常が戻っていることを願っています。

ALTのニーヴ先生と一緒に遊びました!

ALT(外国語指導助手)のニーヴ先生の訪問日。今回も英語の絵本「A Teddy Bear」「My pet」を読み聞かせていただき、そのあと、ニーヴ先生が幼少期に楽しんでいたゲーム「4コーナーゲーム」を教えてくださいました。

保育室の四隅をそれぞれ、1(ワン)、2(ツー)、3(スリー)、4(フォー)のコーナーと名づけられました。リーダーが目隠しして前に立ち、「five, four, three, two, one!」と唱えます。その間にみんなは自分の選んだコーナーに立ちます。

目隠ししていた一人が一つのコーナーを選んでコールし、言われたコーナーにいた人は応援に回ります。最後までリーダーのコールしなかったコーナーを選んで立っていた人が次のリーダーになるというゲーム。

みんなで数を英語で唱えながら、ワクワクドキドキのゲームを楽しむことができました。

アメリカでの遊びを教わった後は、ニーヴ先生にコマ回しやけん玉など、日本ならではの遊びを一緒に楽しんでもらいました。アメリカと日本のそれぞれの遊びを伝え合う交流の日となりました。



「5, 4, 3, 2, 1!」「three!」「3番コーナー、アウトだね~」

今年の願いや目標を一人一人考えました!

年初めの壁面に、子どもたち一人一人の願いや目標を飾ることにしました。「今年どんなことを願いますか?目標にしたいことは?」と担任が一人一人の考えを聞きくと、素敵なの年齢ならではの願い事や目標が次々出てきました。願い事を書いてもらった画用紙に思い思いに絵を描いたり、模様(和紙やマスキングテープ)をつけたりして完成!保育室の壁面に掲示されます。

ひとりひとりの願いや目標が叶いますように!!

<願い事の一部をご紹介>

「家族みんなが元気で過ごせますように!」

「一年生になったら勉強を頑張ります!」

「後ろ跳びがずっと続けて跳べるようになりたい。」

「一輪車に乗れるようになりたいです。」「早く走れるようになりたいな。」

「転がしドッチで勝てますように!」「強い体になりますように!」



「ここにはこの和紙を貼ってみようかな~」「願い事が叶うといいな~!!」

